

令和5年1月13日

「スポーツ文化ツーリズムアワード2022」の受賞団体を発表します ～スポーツ文化ツーリズムの普及、拡大に向けて～

スポーツ庁、文化庁及び観光庁は、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図るための政策連携の取組として「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。

スポーツ文化ツーリズムの優れた取組を評価し普及を図るべく、昨年に引き続き「スポーツ文化ツーリズムアワード2022」の公募を実施し、17件の応募の中から、計6件の受賞団体を決定しました。（同時発表：観光庁）

併せて、受賞団体は「第6回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」（令和5年2月3日に東京都台東区で開催）において表彰予定です。

【スポーツ文化ツーリズムアワード2022 受賞団体】※詳細は別添参照

【本賞】

〈スポーツ文化ツーリズム賞 1件〉

- 奥熊野いだ天ウルトラマラソン実行委員会（一般社団法人 那智勝浦観光機構）
『奥熊野いだ天ウルトラマラソン』

〈スポーツツーリズム賞 1件〉

- くしろウインターパーク実行委員会『くしろウインターパーク』

〈文化ツーリズム賞 1件〉

- 中津玖珠日本遺産推進協議会
『地域住民が中心となった観光体験プログラム「やばはく」の開催』

【特別賞】

〈武道ツーリズム賞 1件〉

- 半弓道場『GIVE IT A SHOT! 矢ってみよう!』

〈日本遺産ツーリズム賞 1件〉

- ワイン文化日本遺産協議会『牛久シャトー日本遺産フェスタ』

〈食文化ツーリズム賞 1件〉

- 東京都台東区『「江戸たいとうサスティナブル／台東区版SDGs」の実現』

【第6回スポーツ文化ツーリズムシンポジウムについて】

- ◆ 日時：令和5年2月3日（金）13時00分～17時05分（開場：12時00分）予定
- ◆ 場所：浅草橋ヒューリックホール（東京都台東区浅草橋1丁目22-16）予定

<担当>

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）

専門職 岡田 （内線 3931）

専門職 片岡 （内線 " ）

stiiki@mext.go.jp

文化庁 参事官（文化観光担当）

参事官補佐 中村 （内線 5051）

総括係長 久野 （内線 4869）

bunkankou@mext.go.jp

電話：03-5253-4111（代表）

スポーツ文化ツーリズムアワード2022

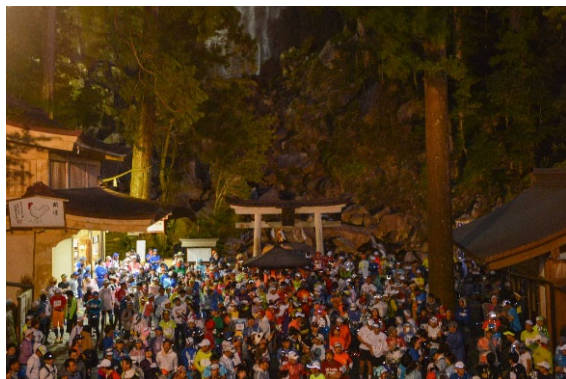
【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)

一般社団法人 那智勝浦観光機構(実施団体:奥熊野いだ天ウルトラマラソン実行委員会)

奥熊野いだ天ウルトラマラソン



取組概要

世界遺産である和歌山県 熊野エリアで行われているウルトラマラソン大会です。1999年からスタートし、2023年には第23回(25年目)が開催されます。

地域住民、事業者が主体(一体)となった大会イベントです。地域住民や事業者による仮装しての応援や、熊野地域の特産品を提供することで地域のブランディング力を高める取組となっています。また、観光名所も取り入れたコースが選定されています。

評価ポイント

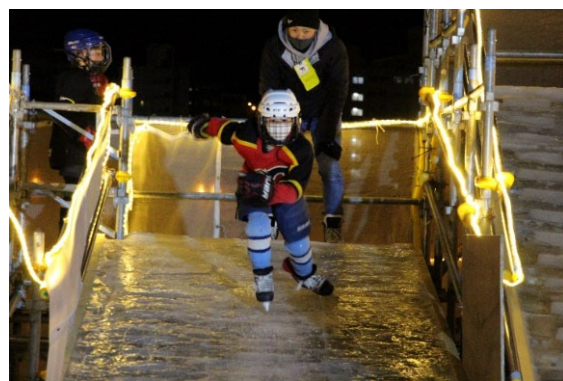
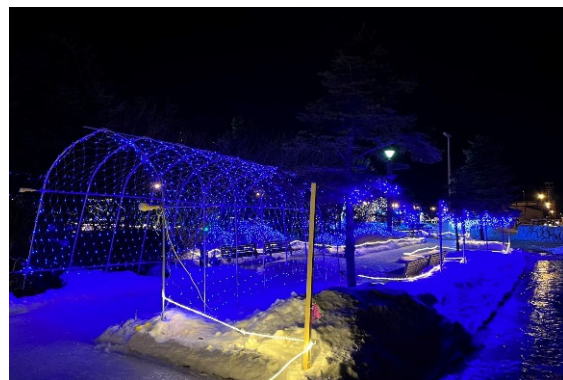
- 地元と一体となったスポーツと文化の組み合わせによる総合完成度が高い。
- 世界遺産の熊野を舞台に地域性が高く、地域を巻き込みながら組み立てられている。
- 参加者のマーケティングが取れており次年度につなげている点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2022 【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)

くしろウインターパーク実行委員会

くしろウインターパーク



取組概要

冬の北海道 釧路で2021年から行われているイベントです。遊歩道を凍らせた日本初の周遊型屋外リンクが特徴で雪・氷をフル活用した屋外アクティビティとなっています。休日には気軽に参加できるイベントも多数用意され、毎日来ても飽きないパークにすることが目的となっています。更には、新種目として注目を集めるアイスクロス競技の体験要素がパークに含まれていることで、スポーツインバウンド需要拡大が見込まれています。

評価ポイント

- スポーツ振興という観点とともに、釧路ならではのイベントという意味も含めて地域性が高い。
- 冬の釧路の地域活性化という観点が非常におもしろい。
- 地域住民を含めて、観光客・インバウンド両方のターゲットに訴求できている点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2022 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

中津玖珠日本遺産推進協議会



地域住民が中心となった観光体験プログラム「やばはく」の開催



取組概要

令和2年度より大分県 耶馬溪エリアにて行われている、「やばはく」という観光体験プログラムです。

「やばはく」とは、日本遺産の構成文化財に五感で触れながら、トレッキングやウォーキング、サイクリングなどが体験できるプログラムです。

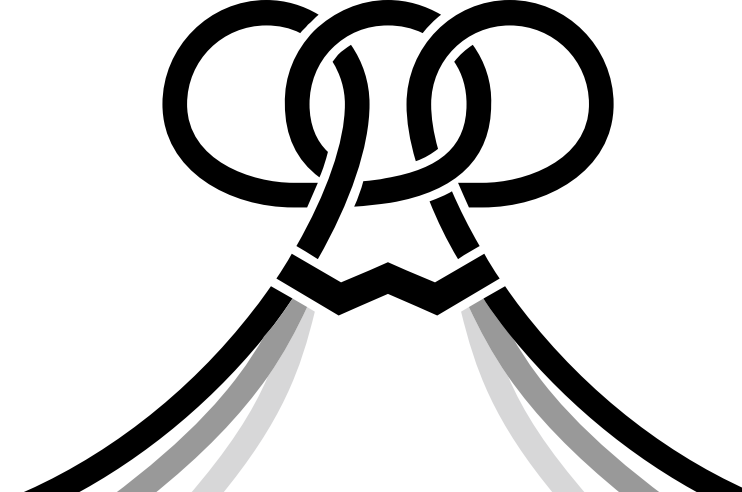
ブランディングを進めつつ、景観や歴史的建造物である構成文化財と地域の特色を結び付け、地域主体となるイベントや観光商品の開発が目的となっています。

評価ポイント

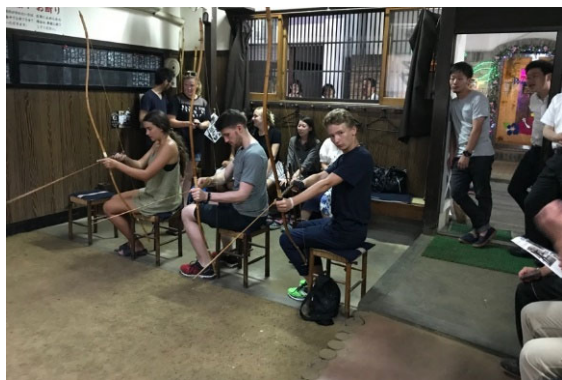
- 日本遺産、世界遺産の登録だけに頼るのではなく、どう利活用するのかの好事例。
- 多彩なスポーツの組み合わせにより、多くの年齢層や愛好者層にしっかりアプローチしている点を評価。
- ガイドの育成や子供のガイドテキスト等、地元の子供達に啓蒙している点も評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2022 【武道ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)
半弓道場



GIVE IT A SHOT! 矢ってみよう!



取組概要

岐阜県高山市の半弓道場にて行われている取組です。和弓を用い、弓道の1/4の距離的に向かい矢を放つ、明治時代に大流行した遊び/競技です。2018年から英語対応をし、常連客、日本人観光客、外国人観光客が、同じ時間に同じ場所で楽しんで、讚えあうような特別な空間となっています。営業は夜の3時間となっており、「夜、外に遊びに行ける町」として高山市の観光地となっています。

評価ポイント

- 飲食街の中の一つのエンターテインメントとして成立している点を評価。
- 外国人をどのように呼び込むかをしっかり調査している。
- 情報発信も色々と工夫しており、来訪者のターゲット設定や目的が明確である。



スポーツ文化ツーリズムアワード2022

【日本遺産ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

ワイン文化日本遺産協議会

牛久シャトー日本遺産フェスタ



取組概要

平成28年度から開催していたイベントを、令和2年度の日本遺産認定を契機にテーマを変えて実施しました。通算3回目である令和4年度では、茨城県内の日本遺産自治体などが参加する日本遺産の認知度向上及び地域活性化を目的としたイベントとなりました。

自治体の出店だけでなく、牛久市と連携するプロスポーツクラブがイベントブースを出展し、茨城県ノルディック・ウォーク連盟は日本遺産構成文化財を巡るイベントを行いました。

評価ポイント

- 日本遺産「日本ワイン140年史」のストーリーを体験してもらうわかりやすい取組になっている。
- ワインに関心ある方以外のファミリー層や若年層に向けた地域への取組を評価。
- ワインに関しては牛久シャトーが日本の近代化の中で果たした役割は大きい。

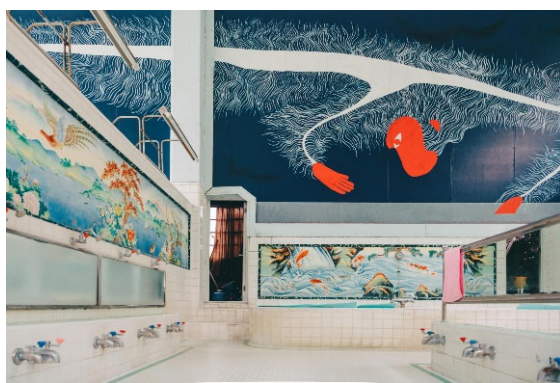
スポーツ文化ツーリズムアワード2022

【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

東京都 台東区

「江戸たいとうサステイナブル／台東区版SDGs」の実現



取組概要

2021年度より東京都 台東区内をめぐるツアーが実施されています。

有形・無形の区内文化資源に観光面からの新たな視点や価値を加えた高付加価値なコンテンツを開発することで、「文化資源の保存と観光活用の両立」を図るなど、観光の持続的発展を推進していくことが目的となっています。江戸由来のコンテンツに新たに光を当てることで、区内他事業者への水平展開や国内への汎用が見込める取組となっています。

評価ポイント

- サステイナブル都市である江戸に学ぶというテーマ・ストーリー性が良い。
- 多くの事業者を巻き込みながら組み立てられており、高付加価値商品で売ることによって、地域に還元がされている点を評価。
- 職人に着目したアプローチも外国人受けが良い。

「スポーツ文化ツーリズムアワード 2022」について

(1) 概要

スポーツ庁、文化庁、観光庁の三庁は、2016年3月に「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を締結し、2016年度から毎年、「スポーツ文化ツーリズムアワード」を実施しています。

スポーツ文化ツーリズムアワードとは、スポーツ文化ツーリズム（注）の推進に寄与する取組やイベントを公募し、選定・表彰を行うものです。第7回となる本年度では、応募のあった17件の取組やイベントの中から、計6件の受賞団体を決定しました。

注：各地域のスポーツイベントと文化芸術資源を結び付けて、新たに生まれる地域ブランドや日本ブランドを確立・発信し、訪日外国人旅行者の増加や、国内観光の活性化を図り、日本及び地域経済の活性化を目指すこと。

【本賞】

- スポーツ文化ツーリズム賞
- スポーツツーリズム賞
- 文化ツーリズム賞

【特別賞】

- 武道ツーリズム賞
- 日本遺産ツーリズム賞
- 食文化ツーリズム賞

(2) スケジュール

令和4年9月5日	公募開始
9月5日～10月20日	公募期間
12月6日	受賞団体選定審査委員会
12月22日	受賞団体への内示
令和5年1月13日	報道発表

(3) 今後について

2023年2月3日（金）に開催予定の「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」において、「スポーツ文化ツーリズムアワード 2022」表彰式を実施し、受賞団体に対して、三庁長官から表彰を行う予定です。

(4) これまでの受賞団体・取組について

ホームページをご参照ください。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00028.html